



広報

うじ



一人ひとりが輝き いぶき つむ 伝統と新たな息吹を紡ぐまち・宇治

新たなまちづくりがスタート
第6次総合計画
2022 ▶ 2033



02 特集

02 総合計画の概要

04 令和4年度当初予算

12 脳活性化教室

14 国民年金保険料免除等

新型コロナワクチン追加(3回目)接種

集団接種：市役所会場の送迎を実施中

対象者 ワクチン2回接種完了から6カ月以上経過している18歳以上の人

令和3年10月10日までに2回目接種完了した人に、追加接種の接種券・「予約方法のご案内」をお送りしました。今後、段階的に対象者へ接種券等をお送りします。

5～11歳の新型コロナワクチン接種

5～11歳(平成29年4月1日生まれまで)の子どもへ接種券等をお送りしました。今後、新たに5歳になる子どもへ誕生月の月末に接種券等をお送りします。

新型コロナウイルス感染症に関する情報は9ページに掲載(ワクチンに関する問い合わせ 他)

本誌「広報うじ」に掲載している情報は3月16日時点の情報です。最新の情報は、市ホームページで確認してください。

令和4年4月、これから12年間のまちづくりの方向性を示した新たな総合計画がスタートします。目指す都市像は「一人ひとりが輝き 伝統と新たな息吹を紡ぐまち・宇治」。今号特集では、市議会に案を提出した第6次総合計画の概要と令和4年度当初予算についてお伝えします。
図政策戦略課(☎20・86998)、財政課(☎20・8715)

目指す都市像

一人ひとりが輝き 伝統と新たな息吹を紡ぐまち・宇治

宇治のまちに、もっと誇りを、もっと愛着を

個人を尊重し一人ひとりを大切にする社会

人と人がつながるまちづくり

お茶・歴史・文化など
引き継がれてきた宇治市の良さを継承しながら
新たなチャレンジを応援、新たな魅力を創出

5つの「まちづくりの方向」

安全・安心に
住み続けられるまち

自然災害や犯罪などから市民の生命と財産を守るとともに、地球温暖化問題に対応するため、関係機関との連携強化や市民一人ひとりの危機意識の向上を図ります。

子育て・子育て支援
が充実したまち

人口減少、少子高齢化が進む中、次代を担う子ども達を育てるため、安心して子育てができる環境とともに子どもが育つ環境づくりを進めます。

誰もがいきいき
と暮らせるまち

住み慣れた地域で、安心して自分らしく健康に暮らせるよう、主体的な地域活動やNPO等との連携を促進するとともに、課題を抱える市民への包括的な支援を行います。

地域経済が
活発なまち

便利で安全・安心に移動出来る、地域特性を活かした都市基盤整備とともに、将来にわたって持続発展出来る強い市内産業をつくり出します。

伝統と歴史が
輝くまち

人口減少、少子高齢社会の中でも選ばれるまちとなるため、宇治の伝統と歴史を活かした魅力あるまちづくりを進めます。

まちづくりの「土台となる取組」

多様な主体との連携・
協働と担い手づくりの推進

すべての人・組織が主役
市民の皆さんとの連携・協働

時代の潮流を捉えた
市政運営

社会情勢や価値観の変化に対応
加速するデジタル社会への対応

将来を見据えた
持続可能な行財政運営

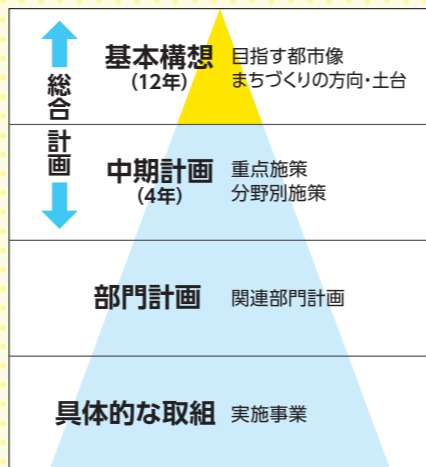
より効果的・効率的な
行財政運営

第1期中期計画(令和4年度~7年度)の3つの重点施策

- 01 WITHコロナ・POST コロナ時代の安全・安心
- 02 みんなでつくる子育て・子育てにやさしい地域共生社会
- 03 活力あふれる産業振興と未来への投資

※同中期計画の重点施策を推進する令和4年度当初予算における主な取組は、5ページ以降に掲載しています。

総合計画とは



総合計画は、計画期間を12年間としながら、20年~30年後も視野に入れ、宇治市の今後のまちづくりの方向性を定めた「基本構想」と、基本構想を実現するため、中短期的な目標等を定めた「中期計画」で構成します。

基本構想は、5つの「まちづくりの方向」とまちづくりの基礎となる「土台となる取組」を位置付け、「目指す都市像」の実現に向けて、まちづくりに取り組まれます。

中期計画は、総合計画の計画期間を3年に分割して4年間の計画とし、常に変化する社会状況に柔軟に対応出来る計画を目指します。中でも特に力を入れて実施する施策を重点施策として、重点的に取り組み、基本構想の実現性を高めます。

また、総合計画に基づく施策や取組は、まちづくりに関する分野ごとに部門計画を策定し、年度ごとの予算において具体的な取組として事業化を図ります。

※令和4年度当初予算については、次ページ以降に掲載

宇治市では、新型コロナウイルス感染症の影響をはじめ、人口減少・少子高齢化の進行、地域コミュニティの希薄化など多くの課題がある中、将来にわたる宇治市の発展をしっかりと見据え、これからの12年間のまちづくりの方向性を示す「第6次総合計画」を取りまとめました。今後、この計画に基づき、市民の皆様とともに、先人たちが守り継承してきた伝統と歴史を引き継ぎつつ、先進的なことにも果敢にチャレンジすることにより、新たなふるさと宇治の創造に向けて、全力を尽くしてまいります。

計画が開始する令和4年度は「未来につながる魅力創造予算」として、直面する行政課題に対応しながら、計画に掲げる都市像の実現に向け、着実に第一歩を踏み出していきたくと考えております。喫緊の課題である新型コロナウイルス感染症への対応に万全を期すとともに、市民の皆様と未来を見据え、誰ひとり取り残さない更なる宇治の発展のため、市民参画・市民協働の魅力あふれるまちづくりに全力で取り組んでまいります。

宇治市長 松村 淳子



3つの重点施策

- 01 WITHコロナ・POSTコロナ時代の安全・安心
- 02 みんなでつくる子育て・子育てにやさしい地域共生社会
- 03 活力あふれる産業振興と未来への投資

まちづくりの土台となる取組の推進

- 01 市民等との連携・協働
- 02 加速するデジタル社会への対応
- 03 持続可能な行財政運営に向けた取組等



01

WITHコロナ・POSTコロナ時代の安全・安心 (約25.3億円)

未だに収束が見えない新型コロナウイルスへの感染拡大防止対策をはじめ、市民生活への支援、さらには、防災・防犯対策、脱炭素社会を目指した地球温暖化対策や、新たな宇治の魅力を活かした観光振興など、**市民の命を守り、地域経済や地域活動が回復・発展出来る安全・安心な社会を構築**します。

▶ 地域の防災・防犯への取組 (約21.2億円)

- 道路・河川などの安全・安心基盤の強靭化 (1,857,914 千円)
- 地域の安全・安心を支える消防力の強化 (207,431 千円)
- 災害時地域タイムライン作成支援事業 (370 千円) ● 地域安全・安心見守り事業 (5,528 千円)

▶ 脱炭素化 (ゼロカーボン) に向けた取組 (約2.5億円)

- エコ・アクション推進事業 (2,264 千円) **府内初!**
- ゼロ・エネルギー・ハウス普及促進事業 (9,000 千円)
- 環境管理制度認証登録支援事業 (506 千円)
- 公共施設照明LED化推進事業 (126,769 千円)

▶ 新たな観光施策に向けた取組 (約1.6億円)

- 歴史文化再発見事業 (6,000 千円) 大河ドラマ「鎌倉殿の13人」の時代に焦点をあてた取組を実施します。
- 「京の七夕 in UJI」事業 (8,000 千円)
- 天ヶ瀬ダムかわまちづくり推進事業 (5,000 千円)



未来につなぐ魅力創造予算

令和4年度は、第6次総合計画の第1期中期計画(令和4年度～7年度)に基づいた事業がスタートします。当面の緊急課題である新型コロナウイルスへの対応をしっかりと行いながら、同計画を着実に推進していきます。

予算編成のポイント

- **新型コロナウイルス感染症への緊急対応** ● 市民の命と健康を守り、市民生活と事業者を支援
- **第6次総合計画の着実な推進** ● 第1期中期計画(令和4年度～7年度)の3つの重点施策を積極的に推進

主な取組の紹介

※各予算額は再掲を含みます。

新型コロナウイルス感染症への緊急対応 (約16.4億円)

感染拡大の防止 (約11.5億円)

- **ワクチン3回目接種**を早期かつ円滑に実施するための体制を確保します。
- 小・中学校、保育所だけでなく、民間の介護福祉施設や障害者福祉施設などへ支援を実施し、**感染防止対策を強化**します。



市民生活・市民活動の支援 (約0.7億円)

- 新型コロナウイルス感染症の影響の長期化を踏まえ、**生活困窮世帯等の生活を守るための支援**を継続します。



事業者への支援 (約1.1億円)

- 「宇治を食べよう」をコンセプトとした地産地消のキャンペーンを実施するなど、新型コロナの影響によりダメージを受けている**市内産農産物の消費**を喚起します。
- 「宇治飯うまいもんチャンネル」で、ケーキ・パンなどの食品製造小売業も新たに紹介していきます。



ICT技術を活用した新しいサービスの提供 (約3.1億円)

- プログラミング教育用ロボットを活用するとともに、無線アクセスポイントを増設し、**小・中学校のICT教育を充実**します。
- 安心して観光地を訪れていただけるよう、**人流情報を発信**します。



活力あふれる産業振興と未来への投資 (約30.6億円)

新たな産業戦略に基づき、産業立地の促進や市内産業の成長支援、人材の確保に加え、農業の持続的な発展など、**産業振興によるまちの活力や雇用の創出**とともに、まちづくりの拠点整備や広域的な道路ネットワークの構築など、**ヒト・モノの流れを生み出す都市基盤整備**により、将来の宇治の発展につながる基盤づくりを進めます。

▶ 産業戦略の更なる推進 (約17.5億円)

- 企業立地等促進助成事業(32,295千円)
- 中小企業交流促進事業(7,000千円)
- 中小企業BCP策定支援事業(1,000千円)
- 産学連携交流促進事業(2,000千円)
- 中小企業事業承継支援事業(5,000千円)



新型コロナウイルス感染症の拡大を転機とした新たなニーズ

(WITHコロナにおける連携・交流、POSTコロナを見据えた設備投資など)

産業戦略を改定し、産業振興対策をパワーアップ

▶ 農業の持続的発展に向けた取組 (約0.7億円)

- 人を支える**
 - 新規就農者確保事業(25,500千円)
- 茶業の継承・発展を支援する**
 - 高品質茶ブランド力強化事業(13,800千円)
- 農地をつなぐ**
 - つながる農地づくり事業(2,700千円)
- 情報を発信する**
 - 農業情報発信事業(3,400千円)

持続可能な農業経営・新たなチャレンジを支援する

- 農業用施設等導入チャレンジ事業(7,500千円)

▶ 新たな都市基盤整備の推進 (約12.4億円)

- 近鉄小倉駅周辺まちづくり関連事業(404,432千円)
- JR六地蔵駅周辺整備事業(681,364千円)



みんなでつくる子育て・子育てにやさしい 地域共生社会 (約28.5億円)

妊娠から出産・子育てまでの切れ目のないサポート体制の強化をはじめ、「子育てにやさしいまち実現プロジェクト」による**地域で子育てを支える仕組みづくり**、また、**生涯にわたって健康に、誰もが安心して生活出来る健康長寿社会の実現**に向けた取組を進めます。

▶ 子育て・子育て環境の充実 (約6.8億円)

- 子育てにやさしいまち実現プロジェクトの推進(33,680千円)
- ヤングケアラー対策事業(3,000千円)
- 保育士等処遇改善臨時特例事業(61,575千円)
- 不妊治療助成事業(23,450千円)
- 新生児聴覚スクリーニング検査事業(4,494千円)



▶ 学校教育環境の整備 (約11.2億円)

- (仮)西小倉地域小中一貫校整備事業(84,000千円)
 - 中学校給食準備事業(20,000千円)
 - 地域学校協働活動推進事業(18,176千円)
- 学校運営協議会を設置するとともに、地域学校協働活動を一体的に行うコミュニティ・スクールを全ての小・中学校で推進します。

▶ 健康長寿社会の実現 (約5.1億円)

- 健康アライアンス事業(4,000千円) 健康づくり・食育推進を目的に官民連携で行う事業を継続して実施します。
- 健康データ分析・地区診断事業(750千円) 地域ごとの課題をデータ分析し、地域に応じた健康づくりを官学連携により実施します。
- 糖尿病性腎症重症化予防対策事業(国保特会)(1,210千円)
- 子宮頸がん予防接種事業(キャッチアップ分含む)(107,095千円)

▶ 誰もが住みやすい地域共生社会 (約5.4億円)

- 「文化芸術がつむぐ ひと・まち・みらい」の実現に向けた文化芸術振興(303,801千円)
文化芸術振興基本計画に基づく5本柱(◎機会の充実◎交流の促進◎活動の促進◎担い手・支え手育成◎情報の発信)に沿った事業を実施します。
- 「スポーツで育む健康と地域の絆」の実現に向けたスポーツ振興(148,475千円)
第2期スポーツ推進計画に基づき、スポーツによる「健康づくり」と「地域の絆づくり」を推進します。
- 地域のつながり促進事業(11,280千円)
町内会と市民団体・NPO等との連携や、地域の交流空間での取組を支援し、つながりを促進します。
- 地域公共交通の充実(13,461千円)



まちづくりの土台となる取組の推進 (約22.5億円)

01 市民等との連携・協働 (約3.0億円)

誰もが住みやすいまちをつくるため、地域で活動する住民同士がつながる仕組みやきっかけづくり、地域の課題解消のための支援を部局横断・連携により推進します。

02 加速するデジタル社会への対応 (約4.3億円)

03 持続可能な行財政運営に向けた取組等 (約15.2億円)

長寿命化などの公共施設マネジメントを着実に推進するとともに、専門的な分野において外部人材を活用し、今後の施策展開を積極的に推進します。

地域課題の解決や産業の発展、行政運営の効率化などに積極的にICTを活用します。またデバインド対策では「誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化」を推進します。

	行政事務の効率化	市民の利便性向上	学校現場でのICT
ICT化推進	AI・RPA活用事業 デジタル政策推進事業	スマート農業等導入チャレンジ事業 視覚障害者専用電子図書館事業	教育情報ICT化推進事業 小・中学校ICT教育充実事業 電子図書館学校連携事業 教育用教材のデジタル化
デバインド対策		デジタルデバインド対策事業	小・中学校における就学援助(オンライン学習通信費助成)

新型コロナウイルス感染症対策

市では、市民の皆さんの生命と健康・安全を守ることを第一に、感染対策と社会経済活動の両立にむけ、引き続き国や京都府と連携し全力をあげて取り組んでいきます。市民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

☎新型コロナウイルス感染症対策本部 ☎22-3141

ワクチンに関する問い合わせ

●市新型コロナワクチン接種コールセンター

☎0570-085-567（聴覚障害等で電話での問い合わせが困難な場合は、☎39-9418 ✉corona@city.uji.kyoto.jp）
 《受付時間》午前9時～午後5時（土・日曜日、祝日を除く）《相談内容》ワクチン接種の予約に関することや接種券の紛失等
 ※メールやファクスでの問い合わせは、時間差が生じる可能性があります。

●京都新型コロナワクチン副反応相談センター

☎075-414-5490（聴覚障害等で電話での問い合わせが困難な場合は、☎075-708-3744 ✉coronavaccine-call@pref.kyoto.lg.jp）
 《受付時間》365日24時間《相談内容》ワクチンに関する疑問、副反応の医学的助言等
 ※メールやファクスでの問い合わせは、時間差が生じる可能性があります。

発熱等の症状のある人の相談

息苦しさや強いだるさ、高熱などの強い症状がある場合はすぐに、発熱や咳など比較的軽い風邪の症状が4日以上続く場合は必ず、相談してください。医療機関を直接受診せず、まずかかりつけ医に電話相談してください。かかりつけ医を持たない場合や休日・夜間は、きょうと新型コロナ医療相談センターに相談してください。

※高齢者や呼吸器疾患等の基礎疾患がある人等は、発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状があれば、すぐに相談してください。

●きょうと新型コロナ医療相談センター

☎075-414-5487 ☎075-414-5990 ✉coronasoudan@pref.kyoto.lg.jp 《受付時間》365日24時間
 ※メールやファクスでの問い合わせは、時間差が生じる可能性があります。

●後遺症に関すること

■きょうと新型コロナ後遺症相談ダイヤル ☎075-414-5338 《受付時間》365日24時間

総合案内窓口と支援等のしおり

●総合案内窓口

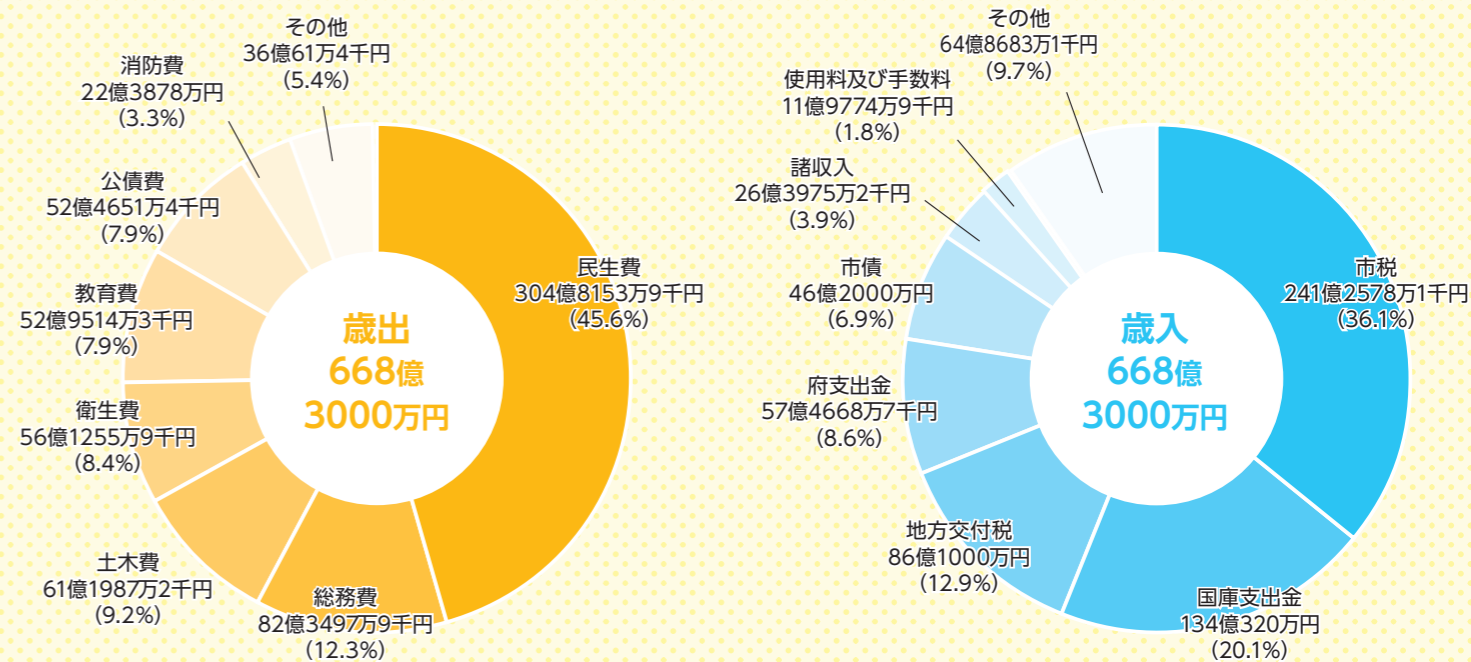
生活・経済面等での支援について、相談窓口や担当課を案内しています。
 《場所》うじ安心館3階（危機管理室内）
 《受付時間》平日 午前9時～午後5時

●支援等のしおり

各種支援策一覧をとりまとめたしおりを配布しています。
 《配布場所》総合案内窓口及び市役所各課窓口
 ※市ホームページから印刷も出来ます。
 ※音声版を市ホームページに掲載しています。

令和4年度 予算の概要

一般会計当初予算 **668億3000万円** (対前年度比 4.2%増)



特別会計 385億8330万円

会計名	予算額	対前年度比
国民健康保険事業	182億3000万円	4.4%増
後期高齢者医療事業	34億円	8.0%増
介護保険事業	169億500万円	4.6%増
墓地公園事業	4830万円	4.5%増

企業会計 175億8023万1千円

会計名	予算額	対前年度比
水道事業	70億1912万8千円	2.9%増
公共下水道事業	105億6110万3千円	18.5%減

令和4年度 市役所の組織

複雑・多様化する行政課題に対応するため、縦のラインと横の連携を一層強化し、効果的・効率的な組織体制を構築します。

▶ 部の再編

- 3つの部を再編しました。
- 政策企画部
 - 総務・市民協働部
 - 産業観光部

▶ 組織横断プロジェクトチームの設置

「市民協働」「乳幼児教育・保育」「企業立地」など、関連する部署が相互に連携・調整を図りながら、それぞれの施策を体系的に推進します。

課の名前が変わります

※主なものを掲載しています。

- IT推進課 ▶ デジタル政策課(DXの推進やマイナンバー等)
- 自治振興課 ▶ 市民協働推進課(市民協働や地域コミュニティ等)
- ごみ減量推進課 ▶ まち美化推進課(ごみ収集や3Rの推進等)